

点検の すすめ

熊谷流通センター青経会
経営副委員長 不破貴史



当社（秩父プラスチック工業（株））は、問屋町南通りのちょうど真ん中辺りに位置します。昭和62年にこちらへ本社を移転し今年で24年になります。他に、栃木県小山市に営業所、長瀬町に工場があります。

事業内容は、「建築資材の卸販売」と「シート製品の製造・販売・施工」を行っております。「建築資材の卸販売」は、住宅等の建物を建てる際に使われる、屋根材・外壁材・雨樋とそれらを加工する機械・工具を施工店様へ販売しております。長瀬工場では「シート製品の製造・販売・施工」を行っております。トラックシートや屋形テントなど小型のものから、テント倉庫等の大型品までオーダーメイドで製作しています。

ところで、皆さんはご自宅の

屋根や外壁・雨樋の様子を点検したことはありますか？屋根や外壁は雨や風、夏の強烈な日差しなどから建物を守っています。特に最近は、猛暑やゲリラ豪雨など過酷な環境が増えてきています。

しかし、屋根などの高所は目に付きにくく、不具合が見逃されがちのように思います。雨漏りが起きて初めて気が付くというケースも多いのではないのでしょうか。最近は対候性のある優れた商品が増えてきていますが、建物を長持ちさせるには定期的な点検と早めの補修が重要です。

素材や環境で建築資材の寿命はさまざまですが、中でも比較的短いものが、外壁サイディングの目地などに使われているコーキング材です。このコーキング

トピックス ————— 2p
平成23年新年会開催

トピックス ————— 3p
2011年3月末の株と円の予想

ニュース ————— 4p
「平成21年度機能向上支援事業」終了ご報告

材は継ぎ目などの防水を目的に現代の建物では多くの部分に使われており、その寿命は、環境や施工状況にもよりますが、概ね5～10年程度と言われています。紫外線による劣化が主な原因で、硬化して亀裂が入り隙間が開いている状態では既に防水機能がなくなっています。外壁の場合、この状態で隙間から雨水が入っても、通常防水紙があるのですぐに木材が腐ったりすることはありませんが、そのまま放置し続けると次第に外壁に付着した泥ぼこりが隙間に堆積し、苔やカビが生え、その結果、外壁材本体や内部を劣化させて雨漏りの原因となります。

他にも、雨樋の詰まりが雨漏りにつながる場合もあります。木の葉や泥で雨樋が詰まってしまうと雨水があふれて軒先や外壁などの周辺部分にかかります。この状態が長期にわたると次第にこれらの部分を劣化させて雨漏りを引き起こします。

建物を長持ちさせる為にも一度点検してみてはいかがでしょうか。

突然の大震災は津波を発生させ、原発事故を誘発した。被災地はもちろんさまざまな影響が日本全国に及んだ。

今、ほとんどの企業が平和を前提として成り立っている。しかしその前提が覆されたら、しくみが機能不全を起し、特に体力の弱い中小零細企業は持ちこたえることができなくなる。

企業を取り巻く外的環境が一変した場合、自らの努力と工夫によって、変えることが可能な内部環境を変化させることにより、対応を図れと経営の教科書には書いてある。

しかし現場では、自粛ムードが漂い、交通アクセスが遮断され、計画停電が不規則に起こり、重油やガソリン等エネルギー供給が不十分なか、まるで集客が見込めない。どうやってこの先売上を立てればいいのかかわからない、という悲痛な叫びが聞こえてくる。当然キャッシュフローが待ったなしの状況で、公的資金の手当てが必須だ。

幸い行田・熊谷周辺はハード面での大きな被害は極めて少ない。今までのマーケティングがなくなった企業もあるだろう。しかし街も人も、菜の花が咲くはずだった地面すらも、一蹴のうちになくなったところが数多く存在することを思えば、創意工夫でこの危機を乗り越えるパワーはみんな持ち合わせている。



Photo Essay

平成 23 年新年会開催



当組合恒例の新年会は、1月14日午後5時より組合会館3階に於いて、御来賓・組合員総勢44名の出席を得て盛大に催されました。

及川専務理事の司会により、大久保理事長の新年の挨拶に続き、富岡熊谷市長・羽鳥行田市副市長、ほか御来賓各位の祝辞を頂きました。

来賓8名の紹介のあと、商工中金熊谷支店佐野支店長の乾杯の御発声により懇親会に移りました。

組合員同士の挨拶や、御来賓と組合員が歓談する姿もみられ、和や

かなうちにお互いの団結・親睦を深めたひとときでした。

理事長挨拶要旨

当団地は、熊谷市と行田市が接する所に立地し、造るに当たっては両市に大変お世話になった。昨年は、開設35周年を迎え中国の杭州・上海への視察旅行を行った。設備面においては、年月の経過とともに老朽化も目立ってきていることから、優先順位を勘案しながら改善を図っていきたいと考えている。

新年に当たり、「明るい未来」を作るには何が必要かを考えてみたい。

第1に「気持ちを変える」こと。不況が長期化する中で、悲観的にならず楽観的に考えることが必要。

第2に「見方を変える」こと。「なぜ売れないか」ではなく「買ってもらうにはどうするか」と考える。

第3に「アプローチを変える」こと。今までの方法は、ニーズに合っていたかを考える。

第4に、「聞き方を変える」こと。相手に「商品を売り込む」のではなく「ニーズを聞き出す」話法が必要。

第5に、「ありのままを受け入れる」こと。ウィークポイントをストロングポイントに転換できる。

第6に、「あるべき姿を想像し、目指す」こと。将来像を周りの人に話しそれに向けて努力すること。

今、日本の政治・経済は混迷を来していますが、明るい気持ちで1年を過ごして下さい。



第 28 回青経会通常総会開催



熊谷流通センター青経会は、去る1月27日(木)第28回通常総会を開催した。

小林代表幹事の挨拶の後、同氏を議長に選任し、平成22年度事業実績・同収支決算案を審議、可決承認された。続いて役員改選を上程し、別掲の通り役員が選出された。新体制の下実施される平成23年度事業計画・同収支予算案も、全員の承認を得て可決承認された。

また、会則の変更を行い満60歳までのOBを賛助会員とし、会の活性化を図っていくこととした。

23年度の事業方針は、経営委員会は「自企業を取り巻く様々な環境への対応を考える」を、交流委員会は、「会員に活力を提供する・会員の増強を図る」をそれぞれテーマとし、活動していく事となった。

続いて、武藤正氏が退会(会則による年齢規定)にあたり挨拶をされ、新入会員藤間太郎氏の紹介と22年度例会皆勤賞6名の会員の表彰を行い総会は無事終了した。

総会后、ご来賓としてお招きした商工中金佐野支店長からの御祝詞と及川専務の乾杯の発声で、新年懇親会となった。情報交換等穏やかな宴の中にも、引き続き厳しさを増す経営環境に対して会員同士一層結束を強めこの難局を乗り越えていく事を約束し散会となった。

青経会平成23年度事業計画

- 1月27日 総会
- 2月3日 講演会・櫻井よしこ氏
- 3月15日 研修例会 / 経営委員会
- 6月7日 研修例会 / 経営委員会
- 7・11月 視察研修
- 8月9日 交流会(交流委員会)
- 10月4日 研修例会 / 経営委員会
- 12月13日 交流委員会
- 12月13日 スタッフ会議

青経会新役員

代表幹事 小林 肇氏
副代表幹事
青年中央会担当 野原 治人氏
経営委員会担当 石山 洋一氏
交流委員会担当 山崎 康弘氏

相談役 清水 龍男氏
監事 小菅 章次氏
同 野村 泰豪氏
経営委員長 堀口 正史氏
同副委員長 不破 貴史氏
交流委員長 中村 昌樹氏
同副委員長 吉澤 啓介氏

2011年3月末の

株と円の大予想



株価予想の部

今年初め県内企業の景況感は緩やかにではあるが、確かに持ち直し始めていた。手持ちの資料では「上昇」4%、「下降」28%でBSI(「上昇」-「下降」の企業割合)は▲24となり、前回調査(2010年10月)▲31を7ポイントの改善となっていた。

円高、資源高いろいろ懸念材料があったが、外需主導で回復基調にあった。『あの日までは・・・』その日は、突然にやってきた。

3月11日午後2時46分。国内史上最大の地震が東北地方を襲った。続いてやってきた巨大津波に多くの方々犠牲になった。そして、原発事故。きっかけは津波だが、天災に人災が加わり事態は深刻である。

総理が唐突に「計画停電」を発表。国民の不安は頂点となった。月曜日、車はガソリンスタンドに列を

なし、電車は止まる。首都圏は大混乱となった。未曾有の震災に冷静に対処した被災者、不安を煽る総理、まさにこの国の有りようを目の当たりにした思いである。

原発の水蒸気爆発、放射性物質の放出と政府の見解は後手後手となる。日経平均も8,700円(3/15)を下まわり、円ドル相場も77円16銭(3/17)。マーケットが不安から恐怖

へ振れた瞬間であった。その後、G7の円売り介入の支援が得られ、円ドル相場が数日で5円も円安に戻すこととなった。それとともに株価も平静を取り戻すこととなった。紆余曲折を乗り越えて年度末を迎えた。株価は昨年比1,334円81銭安で、やや低めの数字を予想された方が上位となり、2位の方が5名もいた。

株価 9,755.1円 (3月末終値)

順位	役職・会社名	氏名	株価/円
1	関東国分(株)	中条 一政	9,782
2	理事	藤間 憲一	9,800
2	(株)飯島綜研	孫田 猛	9,800
2	(株)騎西屋	吉沢 啓介	9,800
2	(株)サンベックス	長谷川 博	9,800
2	(株)ヨシミフーズ	茂木 健一	9,800

円相場予想の部

「G7の協調介入がなかったら…」過去に「もしも…」はないと言われているが、「各国の救いの手がなかったら…」日本の経済も大きく揺らいでいたことであろう。円相場は昨年比10円30銭高で、こちらもやや円高に予想された方が上位となる。

「1000年に1度の震災」と言われている。869年7月に起きた貞観地震じょうくわんじしん以来のことだからか？貞

観地震の震源地も三陸沖。マグニチュード8.3～8.6。今回の地震との類似点が指摘されているようだ。

円相場 83.15円 (3月末終値)

順位	役職・会社名	氏名	円相場/円
1	関東国分(株)	中条 一政	83.00
1	(有)ユーアンドユー	宇津木 優	83.00
3	(株)埼玉エヌテーエヌ	小川 栄一	83.50

「平成21年度機能向上支援事業」終了ご報告



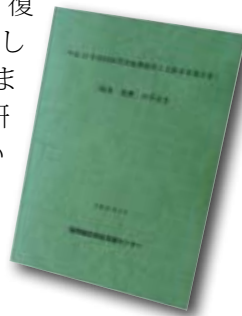
全国中小企業団体中央会の助成金事業として実施してまいりました「平成21年度機能向上支援事業(以下支援事業という)」は平成23年2月15日をもって終了いたしました。今回実施した支援事業のテーマは、当組合を中心とした「安全安心な街づくり」といたし、防災への取り組みを通じて組合員の「相互支援」や「団地ぐるみ」を醸成してゆくことが、必ずや団地活性化につながるという確信を持って取り組んでまいりました。

おかげさまで、皆様の委員会等への参加やアンケートへのご協力により、震災時に必要な資・機材の調達方法や、震災時の避難ルール等について取りまとめることができたほか、専門家による「組合BCP」

の指導や、被災時活用を念頭においた「組合会館」の耐震診断、安否確認方法の検討、それらをまとめた総合的なビジョン作り等多岐にわたり成果を得ることができました。皆様のご支援、ご協力に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

平成23年度は、上記結果を基に定めた「防災ルール」等について、その実効性が確認できるような「防災訓練」を実施してゆくことしておりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。支援事業終了の御礼ならびにご報告とさせていただきます。

なお、組合ホームページに「平成21年度卸商業団地機能向上支援事業報告書(防災・復興の手引き)」として掲示しておりますので、社内研修等にご活用いただければ幸いです。



熊谷 中会 総会



熊谷中金会の第30回定時総会は、2月3日ホテルガーデンパレス熊谷で開催され、所定の議案はすべて可決承認された。総会後の講演会は、今回で8回目

となる櫻井よしこ氏を講師に迎え、「日本再生への道」と題して行われ、外交問題等について歯切れのよい口調で語り約80名の出席者も熱心に聴き入っていた。

理事会開催

- 12月21日 報告事項
- 2月17日 報告事項
- 3月17日 報告事項

東日本大震災にかかる義援金ご協力の御礼

さる3月11日に発生した東日本大震災でお亡くなりになった方にお悔やみ申し上げますと共に、罹災した皆様にお見舞い申し上げます。

この度の震災に伴い、当組合の上部組織である「全国卸商業団地協同組合連合会」から義援金の呼びかけがあり、被災地の同業卸団地を支援するため、組合員の皆様のご了解を得て、組合賦課金の中から100万円を義援金として支出させていただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



組合員の動き

代表者変更

株式会社八木橋(準組合員)
八木橋宏純氏から
八木橋広貴氏へ

1月12日

脱退

有限会社オービック

3月8日



事務局日誌

- 1月14日 組合新年会
- 18日 青経会スタッフ会議
- 27日 青経会総会
- 2月3日 熊谷中金会総会・講演会
- 8日 正副理事長会議
災害対策常任委員会
- 10日 県卸団地連絡協議会
- 17日 理事会
- 3月8日 正副理事長会議
- 17日 理事会
- 4月7日 広報委員会